

基本目標	3	活力と魅力に満ちた元気なまち	担当部署	総務部
------	---	----------------	------	-----

基本目標の方針	日本一の筆産地であるという誇りを持ち、筆づくりの技術やそれにつわる歴史・文化を日本はもとより、世界に向けて発信するなど、熊野筆のブランド化を一層推進します。 また、町民の豊かな暮らしを実現するため、起業支援や企業誘致など新しい産業の育成、就業機会の創出に取り組むとともに、本町の文化や人材などの地域資源を有効活用し、広域的な連携も踏まえながら、観光・交流機能の充実を図り、活力と魅力に満ちた元気なまちづくりを進めます。
---------	--

重点戦略(KGI共通)	重点戦略1 豊かな人づくり	重点戦略4 確かな地域ブランドづくり
-------------	---------------	--------------------

基本目標3の構成	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: #008080; color: white;">基本目標 3</td> <td style="background-color: #008080; color: white;">活力と魅力に満ちた元気なまち</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #008080; color: white;">基本施策 1</td> <td>移住・定住の推進</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #008080; color: white;">基本施策 2</td> <td>商工業の振興</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #008080; color: white;">基本施策 3</td> <td>観光の振興</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #008080; color: white;">基本施策 4</td> <td>雇用の促進</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #008080; color: white;">基本施策 5</td> <td>熊野筆ブランドの充実</td> </tr> </table>	基本目標 3	活力と魅力に満ちた元気なまち	基本施策 1	移住・定住の推進	基本施策 2	商工業の振興	基本施策 3	観光の振興	基本施策 4	雇用の促進	基本施策 5	熊野筆ブランドの充実
基本目標 3	活力と魅力に満ちた元気なまち												
基本施策 1	移住・定住の推進												
基本施策 2	商工業の振興												
基本施策 3	観光の振興												
基本施策 4	雇用の促進												
基本施策 5	熊野筆ブランドの充実												

重点目標達成指標(KGI)										
重点戦略区分	指標名	現状値	実績値					目標値	達成率	担当課
		R1	R3	R4	R5	R6	R7	R7		
1	人口の社会増減(人)	▲ 93	▲ 23					▲ 45	100.0%	政策企画課
4	入込観光客数(人)	106,172	90,676					150,000	0.0%	産業観光課
4	ふるさと納税寄附件数(件)	1,231	2,455					1,300	100.0%	政策企画課
4	熊野筆のブランド戦略の満足度(%)	42.4						45.0	0.0%	産業観光課
達成状況及び増減要因										
【人口の社会増減】										
熊野トンネル無料化など他市町とのアクセスが良くなったことで転入者の増加に繋がったと考える。 ・R2: △48人(R1比 転入: +35人、転出: △10人) R3: △23人(R1比 転入: +24人、転出: △46人)										
【入込観光客数】										
筆の里工房や民間施設への来訪者が増加したことにより令和2年度より増となったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により町外からの観光客数は減少している。 ・R2: 51,028人 R3: 90,676人										
【ふるさと納税寄附件数】										
返礼品提供事業者・返礼品数を増やしたことで、より多くの寄附者の目に触れ、寄附件数の増加に繋がったと考える。 ・R2: 1,775件(R1比: +544件) R3: 2,455件(R1比: +1,224件)										
【熊野筆のブランド戦略の満足度】										
本指標は、数年ごとに実施する「総合計画住民意識調査」の結果を用いていることとしている。令和3年度は「住民意識調査」が未実施のため実績値は把握できないが、引き続き基本施策に掲げた取組を充実させることにより目標値の達成を目指す。										

基本施策の取組状況										
まちづくり指標(KPI)										
指標No.	指標名	現状値	実績値					目標値	進捗率	担当課
		R1	R3	R4	R5	R6	R7	R7		
3-1-①	定住促進イベント参加者数(人)	1,500	0	0	0	0	0	2,000	0.0%	産業観光課
3-2-①	人口千人あたり年間商品販売額(億円)	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.5	0.0%	産業観光課
3-2-②	製造品出荷額等(従業者4人以上の事業所)(億円)	284	262	0	0	0	0	285	0.0%	産業観光課
3-2-③	商工会会員数(人)	431	440	0	0	0	0	440	100.0%	産業観光課
3-3-①	筆の里工房年間来館者数(人)	45,102	31,743	0	0	0	0	70,000	0.0%	産業観光課
3-3-②	町外情報発信拠点数(箇所)	3	2	0	0	0	0	3	0.0%	産業観光課
3-3-③	熊野町PR動画公開本数(本)	7	8	0	0	0	0	10	33.3%	産業観光課
3-4-①	創業支援相談年間件数(件)	24	12	0	0	0	0	30	0.0%	産業観光課
3-4-②	就職ガイダンス参加事業所数(事業所)	12	17	0	0	0	0	17	100.0%	産業観光課
3-5-①	ふるさと納税レポート率(%)	2.3	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	100.0%	政策企画課
3-5-②	製筆技術研修参加者数(人)	12	11	0	0	0	0	15	0.0%	産業観光課
3-5-③	ブランド推進研修会開催数(回)	1	0	0	0	0	0	2	0.0%	産業観光課

基本目標達成状況報告書【基本目標3】

具体的施策(実施事業)の取組状況													
基本施策区分	事業数	評価					今後の方向性					決算額(千円)	
		A	B	C	D	E	拡充	現状継続	改善継続	縮小	完了・廃止		
1	2	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	13,541	
2	2	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	266,577	
3	7	3	4	0	0	0	4	2	1	0	0	261,564	
4	2	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	7,958	
5	7	4	3	0	0	0	4	2	1	0	0	79,348	
基本施策の分析・評価・課題、今後の取組方針													
1	移住・定住の推進			進捗状況区分	C		S:順調に進捗している A:概ね順調に進捗している B:一定の進捗がある C:進捗に遅れがある D:進捗に大幅な遅れがある						
分析・評価	<p>○『定住に関する情報提供・相談の充実』では、新型コロナウイルス感染症の影響から、定住促進イベントを実施することができなかったため、KPIは前年度と比較して皆減となった。</p> <p>○『定住支援制度の検討』では、「住むならくまの」応援事業の住宅新築等に対する支援策では、町外からの移住が36件と令和元年度と比較して6人減少した。</p>												
課題	<p>○『定住に関する情報提供・相談の充実』では、今後も、新型コロナウイルス感染症や別の感染症等の影響を受ける懸念がある。そのため、イベント中止ではなく縮小開催が実施できるよう、開催方法等を検討する必要がある。</p>												
今後の取組方針	<p>○『定住に関する情報提供・相談の充実』では、パンフレット配布等、感染症等の影響を受けない定住促進を継続しつつ、ニーズに沿った情報発信に努める。</p> <p>○『定住支援制度の検討』では、住宅新築等支援策については、アンケート調査結果よりニーズの把握に努め、周辺市町の定住制度を研究し、助成金制度のあり方を検討していく。</p>												
2	商工業の振興			進捗状況区分	A		S:順調に進捗している A:概ね順調に進捗している B:一定の進捗がある C:進捗に遅れがある D:進捗に大幅な遅れがある						
分析・評価	<p>○『中小企業・小規模事業者への支援』では、クーポン事業など商工会と連携した新型コロナウイルス感染症対策施策により、KPIである「商工会会員数」の目標値440人を達成することができた。</p> <p>○また、『地域産業の育成』では、安田女子大学と包括連携協定を締結し、今後の事業推進に向け強固な関係を築くことができた。</p>												
課題	<p>○『中小企業・小規模事業者への支援』では、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、KPI「人口千人あたり年間商品販売額」「製造品出荷額等」の実績値からも事業所の活力低下の深刻さが伺えるため、活性化対策が必要である。</p> <p>○『地域産業の育成』では、町のみでの継続的・包括的な事業実施は業務負担や波及効果に限界があるため、地域人材を巻き込む仕組みが必要。</p>												
今後の取組方針	<p>○『中小企業・小規模事業者への支援』、『商店街の賑わいづくり』に関し、商店街を含むまち全体の地域活性化のため、『地域産業の育成』により既存の産品や地域の特性を活かした産業の育成を図る。</p> <p>○また、『地域産業の育成』では、官民一体となって熊野町の活性化を図るため、多方面で地域人材が活躍できる仕組みを検討する。</p>												
3	観光の振興			進捗状況区分	B		S:順調に進捗している A:概ね順調に進捗している B:一定の進捗がある C:進捗に遅れがある D:進捗に大幅な遅れがある						
分析・評価	<p>○『筆の里工房の魅力アップ』では、筆の里工房周辺を整備し、観光交流施設建築のための造成工事を実施した。</p> <p>○『筆の里工房の魅力アップ』、『各種イベントの実施』に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響から、KPI「筆の里工房年間来館者数」が31,743人と前年度数値を下回り、また筆まつりや観光イベントも規模縮小や開催中止となったが、『多様な媒体による観光情報の提供』の取り組みとして、バーチャル筆まつりや複業人材の活用などコロナ禍でもできる方法で事業実施や他機関連携を実施できた。</p> <p>○また、『多様な媒体による観光情報の提供』に関しては、ふるさと納税については、熊野筆のほか町内の特産品を返礼品として追加登録することにより、寄附額の増及び町内事業者の需要開拓・販売促進に取り組むとともに、寄附者との関係を維持する取組(ふでりん通信・アンケート)により、リピート率が向上した。</p>												
課題	<p>○『筆の里工房の魅力アップ』では、観光交流施設設計の着実な進展と関係業務との円滑な連携が必要。</p> <p>○『各種イベントの実施』に関しては、コロナ禍における実施方法や、アフターコロナを見据えた事業実施方法の検討が必要。</p> <p>○『多様な媒体による観光情報の提供』に関しては、熊野町の返礼品がより多くの人の目に届くような取組が必要であることに加え、寄附受納・返礼品発送事務の効率化を図る必要がある。</p>												
今後の取組方針	<p>○『筆の里工房の魅力アップ』では、工房周辺を整備し、観光交流施設を町民の文化芸術活動の拠点とすることで、熊野町の魅力づくりと情報発信とともに『観光推進体制の強化』に掲げた地域人材の育成を図る。</p> <p>○『各種イベントの実施』に関しては、新型コロナウイルス感染症などの外的要因に左右されないイベントの実施方法等を引き続き検討する。</p> <p>○『多様な媒体による観光情報の提供』に関しては、返礼品の質向上、ポータルサイトの追加等を含めた事務負担の軽減を図ることにより、ふるさと納税を通じた町のPRIに係る取組を充実させる。</p>												
4	雇用の促進			進捗状況区分	B		S:順調に進捗している A:概ね順調に進捗している B:一定の進捗がある C:進捗に遅れがある D:進捗に大幅な遅れがある						
分析・評価	<p>○『雇用機会の確保』では、商工会と連携を密にすることで、KPI「就職ガイダンス参加事業所数」が目標値17事業所を達成するなど町内商工業事業者の総合的な改善発展を支援した。</p>												
課題	<p>○『雇用機会の確保』、『起業の支援』では、事業者側のニーズを把握し、状況にあった支援等を検討する必要がある。</p>												
今後の取組方針	<p>○『雇用機会の確保』、『起業の支援』に関しては、国・県の新型コロナウイルス感染症対策施策の動向を注視しつつ、商工会との密な連携を継続し、事業者への支援策を研究する。</p>												

基本目標達成状況報告書【基本目標3】

5	<b>熊野筆ブランドの充実</b>	<b>進捗状況区分</b>	<b>A</b>	S: 順調に進捗している A: 概ね順調に進捗している B: 一定の進捗がある C: 進捗に遅れがある D: 進捗に大幅な遅れがある
分析・評価	<p>○『熊野筆ブランドの振興』、『熊野筆事業協同組合の支援及び連携』では、伝統工芸士の高齢化のため、講師、受講者ともに確保が困難なため「製筆技術研修参加者数」も11人と伸び悩んだ。</p> <p>○『ふるさと納税を生かした熊野筆のPR』では、熊野筆のほか町内の特産品を返礼品として追加登録することにより、寄附額の増及び町内事業者の需要開拓・販売促進に取り組んだ。これにより、KPIであるふるさと納税リピート率は目標値を超過している。</p> <p>○また、『需要開拓や新たな商品開発の支援』では、三重県熊野市との友好都市協定締結記念コラボ商品「八咫鳥」を共同で開発するとともに、ふるさと納税返礼品として両市町の特産品をコラボした商品を追加した。</p>			
課題	<p>○『熊野筆ブランドの振興』では、伝統工芸士の高齢化が進んでいる状況であり、技術を教える講師の確保ためには、伝統工芸士になるメリットの明確化に取り組む必要がある。</p> <p>○『需要開拓や新たな商品開発の支援』、『ふるさと納税を生かした熊野筆のPR』では、熊野町の返礼品がより多くの人の目に届くような取組や、友好都市協定に基づく新たな返礼品の商品開発が必要であることに加え、寄附受納・返礼品発送事務の効率化を図る必要がある。</p>			
今後の取組方針	<p>○『熊野筆ブランドの振興』、『熊野筆事業協同組合の支援及び連携』では、筆組合と連携し、筆技術の伝承・伝統工芸士の後継者育成のために、産業構造上の課題や進むべき方向性について研究・共有に努める。</p> <p>○『需要開拓や新たな商品開発の支援』、『ふるさと納税を生かした熊野筆のPR』では、三重県熊野市と本町の特徴を活かしたコラボレーション商品の開発や、返礼品の質向上、ポータルサイトの追加等を含めた事務負担の軽減を図ることにより、ふるさと納税を通じた町内事業者の販路拡大や町のPRIに係る取組を充実させる。</p>			

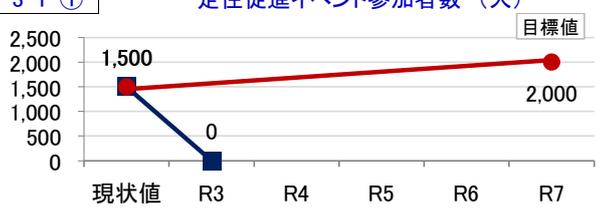
KGIの達成状況や基本施策の取組状況を踏まえた基本目標達成状況の分析・評価・課題	
基本目標達成の進捗状況区分	基本目標達成の進捗状況に係る分析・評価・課題
<p>S 順調に進捗している A 概ね順調に進捗している B 一定の進捗がある C 進捗に遅れがある D 進捗に大幅な遅れがある</p>	<p style="text-align: center; font-size: 2em;"><b>A</b></p> <p><b>【分析・評価】</b></p> <p>○ 商工業や雇用促進については、コロナ禍における消費喚起のための地域経済応援クーポンの発行や雇用者確保のための就職ガイダンスの周知など、商工会と連携を密にすることにより町内事業者の発展を支援した。</p> <p>○ 地域産業の育成については、伝統工芸士の高齢化等の影響によりKPIである「製筆技術研修参加者数」は低調であったものの、今後の事業推進に向け安田女子大学と包括連携協定を締結し、筆文化の発展・継承に係る連携強化を図った。</p> <p>○ 観光振興については、新型コロナウイルス感染症の影響によりKGIである「入込観光客数」は低調であり、筆まつりや観光イベントも規模縮小や開催中止となったものの、バーチャル筆まつりや複業人材の活用などコロナ禍での事業実施や他機関連携を実施した。</p> <p>○ ふるさと納税については、返礼品の追加等によりKGIである「ふるさと納税寄附件数」は目標値を超過し、町のPR強化や町内事業者の需要開拓・販売促進を推進することができた。また、三重県熊野市との友好都市協定締結記念コラボ商品「八咫鳥」を共同で開発するとともに、両市町の特産品をコラボした商品をふるさと納税返礼品に追加した。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>○ 筆産業を含む町内産業の振興については、伝統工芸士の高齢化や継続的な事業実施が課題であり、役場のみならず地域人材を巻き込むような仕組みづくりが必要である。</p> <p>○ 定住促進イベントや観光イベントについては、新型コロナウイルス感染症の影響下においても実施可能な方法を検討する必要がある。</p> <p>○ 商店街や商業空間の賑わいづくり、町民や事業者の新たな取組や移住者の起業に対する支援については、筆の里工房周辺に整備予定の観光交流施設において検討し充実させる必要がある。</p>

基本目標達成の進捗状況に係る分析・評価・課題への対応を踏まえた今後の取組方針
<p>○ 官民一体となって町の活性化を図るため、多方面で地域人材が活躍できる仕組みを検討し、既存産品や地域の特性を生かした産業の育成や就業機会の創出に取り組む。また、筆技術の伝承、伝統工芸士の後継者育成のため、筆組合や安田女子大学と連携し、産業構造上の課題や進むべき方向性について研究・共有に努める。</p> <p>○ 筆の里工房周辺に整備予定の観光交流施設を町民の文化芸術活動の拠点とすることで、町の魅力づくりと情報発信の場とし、地域人材の育成や地域資源を最大限活用する取組を通じて、観光・交流機能の充実を図るとともに定住促進に取り組む。</p> <p>○ 三重県熊野市と本町の特徴を生かしたコラボ商品の開発や、返礼品の質向上、ポータルサイトの追加等を含めた事務負担の軽減を図ることにより、ふるさと納税を通じた町内事業者の販路拡大や町のPRIに係る取組を充実させる。</p>

基本目標 3 基本施策 1 移住・定住の推進

基本目標区分	基本目標3 活力と魅力に満ちた元気なまち	担当課 産業観光課 (関係課)都市整備課
基本施策区分	基本施策1 移住・定住の推進	
SDGs区分	 	

具体的施策 <Plan>	
3-1-1	定住に関する情報提供・相談の充実
◎ホームページやSNSを活用した定住情報を、子育て世代を中心に積極的に提供するなど、Uターンを促進します。 ◎定住に向けた就業情報の提供を行うとともに、定住に係る事柄についての相談や町内の不動産業者等と連携した空き家情報の提供など熊野町に住みたい人に対する支援体制の充実を図ります。	
3-1-2	定住支援制度の検討
◎移住者を呼び込むため、子育て・住宅・就業・生活環境などの各場面において、定住を支援する制度を検討します。 ◎くまの・子ども夢プラザに整備した移住体験施設を有効活用し、本町への移住を検討している方に対して体験の場を提供します。 ◎進学で町外に転出する場合に、卒業後のUターンを条件とした有利な奨学金返還助成制度を設けるなど、熊野町に若者が戻ってくる施策を検討します。	
3-1-3	地域資源の活用
◎定住・交流の促進に向けて、各イベントにおいて賑わいを創出するとともに、各種地域資源を活用しながら本町へ興味を持っていただけるよう取り組みます。 ◎空き家・空き地等の既存ストックを、生活サービス施設や地域のコミュニティの拠点施設として活用し、近隣住民による利用の促進を図る取組について研究します。	
3-1-4	「まち」のブランド創出
◎多くの方に選ばれる「熊野筆」のブランドがあるように、住むところ(移住地・定住地)として積極的に候補地となれるよう、総合的な「まち」のブランドイメージを創造するために、子育て・教育・福祉・観光など幅広い分野で施策を展開、情報発信していきます。	

まちづくり指標(KPI) <Do>										
指標No.	指標名	指標							進捗率	担当課
		現状値	R3	R4	R5	R6	R7			
3-1-①	定住促進イベント参加者数 (人)	実績値 1,500 目標値 1,500	0				2,000	0.0%	産業観光課	
3-1-①	定住促進イベント参加者数 (人)									
										
【進捗状況及び増減要因】										
新型コロナウイルス感染症の影響から、各種イベントが実施できなかった。 ・R2参加者数:0人 R3参加者数:0人										

具体的施策(実施事業)の取組状況 <Do>							
具体的施策No.	実施事業名	取組状況・成果	決算額(千円)	評価	今後の課題・取組方針	今後の方向性	担当課
3-1-1	定住交流促進事業	新型コロナウイルス感染症の影響から、イベントの開催はできなかった。	151	D	【課題】 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、開催方法等を検討する必要がある。 【取組方針】 開催場所、内容について検討を行い、ニーズに合った情報発信に努める。	改善継続	産業観光課
事業目的		定住に関する情報提供・相談の充実					
3-1-2	子育て世代「住むならくまの」応援事業	【取組状況】 若年層の定住を促進し、人口の維持・地域の活性化を図るため、住宅の新築又は中古住宅の購入に対する支援措置として助成金を交付(68件)した。 ・町外から移住:36件 ・町内の転居:32件	13,390	B	【課題】 移住者のニーズにあった支援措置となっているか随時検証が必要。 【取組方針】 アンケート調査結果よりニーズの把握に努め、周辺市町の定住制度を研究し、助成金制度のあり方を検討していく。	現状継続	都市整備課
事業目的		住宅を購入し、定住した子育て世代の世帯に対して、住宅購入の助成金を交付し、活力ある地域づくりを行う。					

「評価」区分	「今後の方向性」区分
<b>A (想定90%以上)</b> ・実施事業の目的に沿った取組を実施した(順調に進んでいる) ・計画していた成果を得られた <b>B (想定60%以上90%未満)</b> ・実施事業の目的に沿った取組を概ね実施した(概ね順調に進んでいる) ・計画していた成果を概ね得られた <b>C (想定30%以上60%未満)</b> ・実施事業の目的に沿った取組が十分にできなかった(やや遅れている) ・計画していた成果を十分に得られなかった <b>D (想定0%以上30%未満)</b> ・実施事業の目的に沿った取組がほとんどできなかった(遅れている) ・計画していた成果をほとんど得られなかった <b>E (評価できない)</b> ・事業の廃止・完了により事業を実施しなかった ・義務的事業等のため評価がなじまない	<b>【拡充】</b> 新規事業の実施や予算等の拡充により、事業を拡大して実施する <b>【現状継続】</b> 事業目的や事業内容、対象を前年度と同程度で実施する <b>【改善継続】</b> 事業目的は変更せず、事業内容や手段、対象を一部見直しして実施する <b>【縮小】</b> 事業内容や予算規模等を縮小して実施する <b>【完了・廃止】</b> 事業が完了した又は事業を廃止した

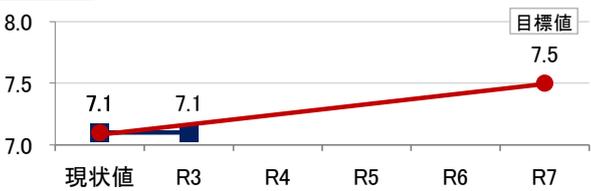
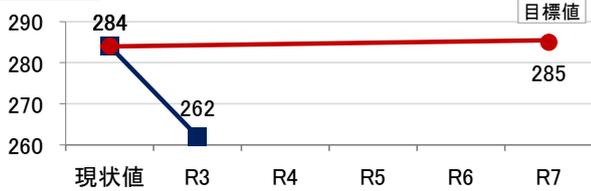
KPIの進捗状況や具体的施策の取組状況を踏まえた基本施策の分析・評価・課題		<Check>
基本施策の進捗状況区分	基本施策(KPI・具体的施策)の進捗状況に係る分析・評価・課題	
S 順調に進捗している A 概ね順調に進捗している B 一定の進捗がある C 進捗に遅れがある D 進捗に大幅な遅れがある	<b>C</b>	<b>【分析・評価】</b> ○『定住に関する情報提供・相談の充実』では、新型コロナウイルス感染症の影響から、定住促進イベントを実施することができなかったため、KPIは前年度と比較して皆減となった。 ○『定住支援制度の検討』では、「住むならくまの」応援事業の住宅新築等に対する支援策では、町外からの移住が36件と令和元年度と比較して6人減少した。 <b>【課題】</b> ○『定住に関する情報提供・相談の充実』では、今後も、新型コロナウイルス感染症や別の感染症等の影響を受ける懸念がある。そのため、イベント中止ではなく縮小開催が実施できるよう、開催方法等を検討する必要がある。

基本施策の進捗状況に係る分析・評価・課題への対応を踏まえた今後の取組方針	<Action>
○『定住に関する情報提供・相談の充実』では、パンフレット配布等、感染症等の影響を受けない定住促進を継続しつつ、ニーズに沿った情報発信に努める。 ○『定住支援制度の検討』では、住宅新築等支援策については、アンケート調査結果よりニーズの把握に努め、周辺市町の定住制度を研究し、助成金制度のあり方を検討していく。	

基本目標 3 基本施策 2 商工業の振興

基本目標区分	基本目標3 活力と魅力に満ちた元気なまち	担当課	産業観光課
基本施策区分	基本施策2 商工業の振興		
SDGs区分			

具体的施策 <Plan>	
3-2-1 中小企業・小規模事業者への支援	<p>◎中小企業の経営の安定を図り、企業活動や商店街の活性化を促進していくとともに、後継者確保、人材育成のため、商工会の活動を支援するとともに、連携を強化します。</p> <p>◎情報ネットワークの有効活用など、常に新しい情報を取り入れながら、経営の近代化・高度化を推進するとともに、各種融資制度の効果的な取組について支援します。</p>
3-2-2 商店街の賑わいづくり	◎商店街の振興を図るため、商工会と連携し、商店街の活性化に向けた方針とその具体化方策について検討を行うとともに、各種取組について支援します。
3-2-3 商業空間の整備	◎空き店舗の活用方法や、共同駐車場、広場、歩道、ストリートファニチャーの設置など、快適で魅力ある商業基盤の整備について検討します。
3-2-4 地域産業の育成	◎まち並みや文化財、筆産業を生かした観光産業や、地域の既存の産品を生かした特産品化、新たな商品開発など、地域の特色を生かした産業の育成を図るとともに、これを支える人材の発掘と育成に取り組めます。
	◎町民主体で事業展開が行えるよう、地域産業の育成支援を行うとともに、町内における機運の醸成を図ります。
3-2-5 新たな取組への支援	◎飲食事業者などの小売店舗におけるキャッシュレス決済の導入や、高齢者への宅配サービスへの対応を見据えたデリバリー・テイクアウトサービスの導入など、商業環境の変化に対応した新たな取組について積極的に支援します。

まちづくり指標(KPI) <Do>										
指標No.	指標名	指標					進捗率	担当課		
		現状値	R3	R4	R5	R6	R7			
3-2-①	人口千人あたり年間商品販売額(億円)	実績値 7.1 目標値 7.1	7.1				7.5	0.0%	産業観光課	
3-2-②	製造品出荷額等(従業者4人以上の事業所)(億円)	実績値 284 目標値 284	262				285	0.0%	産業観光課	
3-2-③	商工会会員数(人)	実績値 431 目標値 431	440				440	100.0%	産業観光課	
3-2-①	人口千人あたり年間商品販売額(億円)			3-2-② 製造品出荷額等(従業者4人以上の事業所)(億円)						
【進捗状況及び増減要因】		実績値は、平成28年経済センサス活動調査卸売・小売業の確報値/平成27年国勢調査人口確報値*1,000人の数値 ・R2販売額7.1億円 R3販売額7.1億円		【進捗状況及び増減要因】					実績値は、令和2年工業統計調査「従業者4人以上の事務所に関する統計表」市町別統計表より ・R2出荷額等262億円 R3出荷額等262億円	
3-2-③	商工会会員数(人)									
【進捗状況及び増減要因】		商工会の活動、周知により、会員数が増加している。 ・R2会員数:438人 R3会員数:440人								

具体的施策(実施事業)の取組状況		<Do>					
具体的施策No.	実施事業名	取組状況・成果	決算額(千円)	評価	今後の課題・取組方針	今後の方向性	担当課
3-2-1	商工振興事業	商工会へ補助金を支援することで、町内商工業事業者の総合的な改善発展を支援した。	266,577	A	【課題】 人口減少による購買力の低下や、大型商業施設の進出によつて既存商店街の活力低下。  【取組方針】 地域の既存の産品を生かした特産品化、新たな商品開発など、地域の特性を活かした産業の育成を図る。	現状継続	産業観光課
	事業目的	町内の中小企業・小規模事業者を支援することにより、商工業の活性化を図る。					
3-2-4	観光推進事業	・複業人材を登用し、郷土館を観光コンテンツとするための提案コンテストを実施し、多様なアイデアを収集した。 ・安田女子大学と連携協定を締結し、筆文化の振興・発展・魅力の普及や筆文化の次世代への継承に関することなどをテーマに今後連携することとした。	-	A	【課題】 継続的に職員が情報発信するには業務負担が大きい。  【取組方針】 (仮称)熊野みらいLABOを設立し、地域人材が集い・活動できる仕組みづくりを行う	現状継続	産業観光課
	事業目的	魅力ある観光・交流を推進するため地域人材の育成体制を確立する					

「評価」区分	「今後の方向性」区分
<b>A (想定90%以上)</b> ・実施事業の目的に沿った取組を実施した(順調に進んでいる) ・計画していた成果を得られた <b>B (想定60%以上90%未満)</b> ・実施事業の目的に沿った取組を概ね実施した(概ね順調に進んでいる) ・計画していた成果を概ね得られた <b>C (想定30%以上60%未満)</b> ・実施事業の目的に沿った取組が十分にできなかった(やや遅れている) ・計画していた成果を十分に得られなかった <b>D (想定0%以上30%未満)</b> ・実施事業の目的に沿った取組がほとんどできなかった(遅れている) ・計画していた成果をほとんど得られなかった <b>E (評価できない)</b> ・事業の廃止・完了により事業を実施しなかった ・義務的事業等のため評価がなされない	<b>【拡充】</b> 新規事業の実施や予算等の拡充により、事業を拡大して実施する <b>【現状継続】</b> 事業目的や事業内容、対象を前年度と同程度で実施する <b>【改善継続】</b> 事業目的は変更せず、事業内容や手段、対象を一部見直して実施する <b>【縮小】</b> 事業内容や予算規模等を縮小して実施する <b>【完了・廃止】</b> 事業が完了した又は事業を廃止した

KPIの進捗状況や具体的施策の取組状況を踏まえた基本施策の分析・評価・課題		<Check>	
基本施策の進捗状況区分	基本施策(KPI・具体的施策)の進捗状況に係る分析・評価・課題		
S 順調に進捗している A 概ね順調に進捗している B 一定の進捗がある C 進捗が遅れがある D 進捗に大幅な遅れがある	<b>A</b> <b>【分析・評価】</b> ○『中小企業・小規模事業者への支援』では、クーポン事業など商工会と連携した新型コロナウイルス感染症対策施策により、KPIである「商工会会員数」の目標値440人を達成することができた。 ○また、『地域産業の育成』では、安田女子大学と包括連携協定を締結し、今後の事業推進に向け強固な関係を築くことができた。  <b>【課題】</b> ○『中小企業・小規模事業者への支援』では、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、KPI「人口千人あたり年間商品販売額」「製造品出荷額等」の実績値からも事業所の活力低下の深刻さが伺えるため、活性化対策が必要である。 ○『地域産業の育成』では、町のみでの継続的・包括的な事業実施は業務負担や波及効果に限界があるため、地域人材を巻き込む仕組みが必要。		

基本施策の進捗状況に係る分析・評価・課題への対応を踏まえた今後の取組方針		<Action>	
○『中小企業・小規模事業者への支援』、『商店街の賑わいづくり』に関し、商店街を含むまち全体の地域活性化のため、『地域産業の育成』により既存の産品や地域の特性を活かした産業の育成を図る。 ○また、『地域産業の育成』では、官民一体となって熊野町の活性化を図るため、多方面で地域人材が活躍できる仕組みを検討する。			

<b>基本目標</b>	<b>3</b>	<b>基本施策</b>	<b>3</b>	<b>観光の振興</b>
-------------	----------	-------------	----------	--------------

基本目標区分	基本目標3 活力と魅力に満ちた元気なまち	<b>担当課</b>	産業観光課 (関係課)政策企画課、都市整備課
基本施策区分	基本施策3 観光の振興		
SDGs区分	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>8 豊かさを 経済成長</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>9 産業と技術革新の 基盤をつくらう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>12 つくばる物 つかう責任</p> </div> </div>		

<b>具体的施策</b>	<b>&lt;Plan&gt;</b>
<b>3-3-1</b>	<p><b>筆の里工房の魅力アップ</b></p> <p>◎筆の里工房については、今後の運営・展開計画を定め、筆の博物館として収蔵品の充実など専門性を強化するとともに、誘客の強化を図るため、筆の里工房の周辺に観光交流拠点と都市公園の整備を進めます。</p> <p>◎筆の里工房における企画展・イベントについては、専門性が高いものや、知名度及びアピール性の高いものなど、工夫を凝らし、集客力の向上を図ります。</p> <p>◎平成30年度に実施した常設展示のリニューアルで導入した体験型の展示を今後も大切に、子どもから大人まで楽しめる施設の維持に努めます。</p> <p>◎地域に支えられる施設として、町内の教育関連施設と連携した鑑賞教育等を通じて、熊野町における文化芸術への関心を高める活動や、様々な「美」を支える筆の産地としての文化の振興と発信を推進します。</p> <p>◎既存の公共交通機関からのアクセスや町内の他の観光施設等との周遊性を確保するため、超小型モビリティや電動自転車レンタサイクルなどの導入、シャトルバスの運行、周辺市町の観光地と連携した周遊バスの運行などについて検討します。</p>
<b>3-3-2</b>	<p><b>観光推進体制の強化</b></p> <p>◎地域が一体となった観光推進体制を確立していくため、事業所や関係団体等との連携・協力を強化し、その活動を支援します。さらに、観光交流拠点の整備とあわせ、商工会、熊野筆事業協同組合、自治会など、行政だけでなく地域と連携を図りながら観光のまちづくりを協議・検討していきます。</p> <p>◎「美」に関する研究・研修教育・体験施設の誘致など、多様な観光資源の確保に向けた取組を行います。</p> <p>◎宿泊施設の誘致や民泊事業の実施に向けた支援など、滞在可能な場の確保を検討します。</p> <p>◎接客サービスの向上や気配りなど、本町ならではの「おもてなしの心」を醸成するとともに、人材の育成を図ります。</p>
<b>3-3-3</b>	<p><b>魅力ある観光・交流の推進</b></p> <p>◎町内観光モデルコースの設定、バスツアーの造成、観光資源の組み合わせなど、魅力ある観光メニューづくりを推進します。</p> <p>◎地域の特産物の宣伝を強化するとともに、関係機関、民間団体による新たな「食」や「観光スポット」などの地域資源の開発を支援します。</p> <p>◎観光案内やギャラリー事業を行う熊野町観光案内所「筆の駅」や民間公園であるトモヒオパーク、事業所が行う筆づくり体験など、民間の活動と連携した取組を行います。</p> <p>◎「筆」を媒体として、紙の産地など関連地域との交流を検討し、国内外における「筆」のネットワークを形成します。</p> <p>◎全国書画展覧会やありがたの絵てがみ大賞など、地域の特色や継続してきたイベント等を支援し、それを生かした交流事業を推進します。</p> <p>◎インバウンドを呼び込むため、町内の主要観光スポット等に関して、案内看板や展示の解説など外国語表記を普及させるとともに、日本と本町の文化体験やまち歩きなどの観光コンテンツとまちなかでのWi-Fi環境の整備を推進します。</p> <p>◎現在の郷土館について、そのたたずまいとこれまで収集された古民具等を生かした古民家カフェやゲストハウス、ミニ物産館(朝市)などへの転用も視野に入れ、地域の活性化と観光コンテンツの一つとなるよう取り組みます。また、筆づくりの技術とそれにつながる熊野町独自の文化を文化財として位置づけ、観光資源としての活用を図ります。</p> <p>◎中溝・出来庭地区付近から筆の里工房周辺に至るまでを「まち並み観光ルート(仮称)」として設定し、まち歩きの観光コンテンツの一つとなるよう地域住民との協働による取組を推進します。</p> <p>◎筆の里工房周辺に整備予定の観光交流拠点について、既存の観光資源と連携しながら町外からの観光客はもとより、町民にとっても集い楽しめる場としての活用に取り組みます。</p>
<b>3-3-4</b>	<p><b>各種イベントの実施</b></p> <p>◎「筆まつり」について、商工会等と連携し、まつりのあり方や性格、内容の個性化等について検討し、より魅力あるものとします。</p> <p>◎新たなイベントの実施にあたっては、筆の里工房事業の多様な活用を図るとともに、連携を強化し、自然・歴史・産業などの地域資源を活用した町民参加型のイベントの開催を検討します。</p> <p>◎呉地域観光連絡協議会、広島宮島岩国地域観光圏協議会等と連携し、広域観光ルートの形成を図るとともに、観光キャンペーンやイベントの共同開催など、連携中枢都市圏制度を活用した広域的な取組を強化します。</p> <p>◎「筆まつり」以外の熊野町ならではの要素を持った新たな集客イベントの定期的な開催について、商工会や熊野筆事業協同組合などの関係団体と協議を行っていきます。</p>
<b>3-3-5</b>	<p><b>多様な媒体による観光情報の提供</b></p> <p>◎観光パンフレットやポスターなどの既存の紙媒体での広報や、デジタル技術を活用したSNSや動画配信、仮想現実空間でのまち歩き体験など、様々なツールにより熊野町に興味・関心を惹き、実際の来町観光につながる観光情報の発信に努めます。また、観光地における利便性が確保されるよう、情報提供・案内機能の充実を図ります。</p> <p>◎本町の魅力や観光地をPRする映像コンテンツを活用し、「筆の都・熊野町」の一層の周知を図ります。</p> <p>◎筆文化大使等を通じてさらなる熊野筆の魅力発信を図ります。</p> <p>◎筆文化を様々な手法で発信するために、インターネット内での特設販売サイトの整備支援や、町内にWi-Fi環境を整備し携帯端末からの観光情報が入手できるような環境の整備を推進します。</p>
<b>3-3-6</b>	<p><b>熊野町観光協会(仮称)の創設</b></p> <p>◎町内の関連事業所と連携して本町の観光の魅力を最大限に活用した様々な取組が円滑に行えるよう、「熊野町観光協会(仮称)」の創設に向けた取組を支援します。</p>
<b>3-3-7</b>	<p><b>熊野町観光まちづくり計画(仮称)の策定</b></p> <p>◎本計画における取組及び熊野町観光交流拠点整備構想計画を包括する「熊野町観光まちづくり計画(仮称)」を策定し、本町のとるべき観光施策を定め、具体的に推進していきます。</p>

まちづくり指標(KPI) <Do>			指標					進捗率	担当課	
指標No.	指標名	実績値	現状値	R3	R4	R5	R6			R7
3-3-①	筆の里工房年間来館者数(人)	実績値 45,102 目標値 45,102	45,102	31,743				70,000	0.0%	産業観光課
3-3-②	町外情報発信拠点数(箇所)	実績値 3 目標値 3	3	2				3	0.0%	産業観光課
3-3-③	熊野町PR動画公開本数(本)	実績値 7 目標値 7	7	8				10	33.3%	産業観光課
3-3-①	筆の里工房年間来館者数(人)									
3-3-②	町外情報発信拠点数(箇所)									
【進捗状況及び増減要因】			新型コロナウイルス感染症の影響から、来客数が減少したと推測される。 ・R2来館者数:32,187人 R3来館者数:31,743人							
【進捗状況及び増減要因】			セレクトショップ2店舗(1. ホテルグランヴィア広島、2. 銀座・ひろしまブランドショップTAU) ・R2年度:ekie(しま商店)廃止							
3-3-③	熊野町PR動画公開本数(本)									
【進捗状況及び増減要因】			令和3年度には新たな動画の公開は行っていない。 ・R2公開本数:8本 R3公開本数:8本							

具体的施策(実施事業)の取組状況 <Do>			決算額(千円)	評価	今後の課題・取組方針	今後の方向性	担当課
具体的施策No.	実施事業名	取組状況・成果					
3-3-1	筆の里工房事業	・筆の里工房周辺整備事業として、関係かと連携し、筆の里工房西側の駐車場、駐車場と筆の里工房をつなぐ人道橋、観光交流施設建築のための交流ゾーンの造成工事を実施。 ・コロナ禍により筆の里工房の集客は伸び悩んだが、町内小学校の鑑賞・体験教育などは着実に継続実施した。	135,765	B	【課題】 ・熊野町の風土・文化に調和した施設設計の着実な進展と駐車場を含む公園整備設計業務との円滑な連携。 ・立地が良いとは言えず、交通アクセス等の改善を検討する必要。  【取組方針】 ・設計者選定委員会や文化芸術アドバイザーなど専門家からの助力・支援。 ・企画展・随時イベントの工夫及び工房北側を整備と連携したさらなる魅力づくりと情報発信に注力。 ・交通アクセスの手法に関する検討実施。	拡充	産業観光課
事業目的			筆の里工房の一層の活用と活性化を図り、熊野町への観光客数の増加や町民の文化芸術活動の拠点化を目指す。				
3-3-1	筆の里工房周辺整備事業	【取組状況】 持続可能なまちづくりの推進や地域活力の向上を図るため、(仮称)筆の里創造の丘公苑「体験交流施設」の建設予定地の造成工事を実施。	86,997	B	【課題】 公園の施設管理を含め地域資源を活かした拠点づくりを担う管理運営主体の検討  【取組方針】 関係団体と協議を行い、運営方針を検討することにより、観光誘客の強化だけでなく町民の生きがいづくりの場としての拠点を整備する。	現状継続	産業観光課、都市整備課
事業目的			「筆の里工房」と一体となった公園の整備により、熊野町の地域資源である「筆」、「食」、「自然」、「人」と連携しつつ、観光客や町民が集い、これらの資源を体感できる観光交流拠点づくりなどを推進することで、観光入込客や観光消費の増大、町民の生きがいづくりを促進し、地域活力の向上を目指す。				
3-3-2	観光推進事業	・各種観光交流イベントは新型コロナウイルス感染症の影響から開催できなかった。 ・令和3年度からの3年計画で進めている人材の育成や地域的基盤(観光推進団体)の整備を、委託(伴走型の支援)により実施した。	9,974	B	【課題】 新型コロナウイルス感染症によりイベント開催ができない可能性がある。  【取組方針】 アフターコロナを見据えた事業検討。	改善継続	産業観光課
事業目的			(仮称)熊野みらいLABOの設立による地域人材を受け入れ、育成する仕組みづくりを構築する				

3-3-3	観光推進事業【再掲】	・複業人材を登用し、郷土館を観光コンテンツとするための提案コンテストを実施し、多様なアイデアを収集した。	-	A	【課題】 郷土館を観光コンテンツとして活用するためには、施設の老朽化、関係機関との調整及び推進する地域人材の確保が課題。  【取組方針】 (仮称)熊野みらいLABOの取り組みを進め、熊野町郷土館の利活用の検討を進める。	拡充	産業観光課
事業目的		安田女子大学をはじめとする関係団体との連携・協力を前提とした事業実施体制の再構築					
3-3-4	筆産業振興事業、観光推進事業【再掲】	・筆まつりは規模を縮小し実施、また令和2年度に続きバーチャルでの開催を実施し、熊野筆の発信及び販売に寄与した。 ・観光イベントは全て新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。	-	B	【課題】 新型コロナウイルス感染症によりイベント開催ができない可能性がある。  【取組方針】 筆まつり以外においてもコロナ禍における事業実施方法を検討する。	現状継続	産業観光課
事業目的		関係団体を含めた実施体制でのコロナ禍における事業実施方法の確立					
3-3-5	観光推進事業【再掲】	・コロナ禍における熊野町の魅力発信ツールとして、インスタグラムでの情報発信を開始。 ・複業人材を登用し、発信方法の向上に努めた。	-	A	【課題】 継続的に職員が情報発信するには業務負担が大きい。  【取組方針】 SNSを活用した情報発信を継続実施するとともに、熊野高校をはじめとする教育機関との連携や筆文化大使等の協力を得ながら、効果的な情報発信を検討する。	拡充	産業観光課
事業目的		町内外の多世代に向けた情報発信が可能となるよう多様な媒体での観光情報を提供できる体制を確立する。					
3-3-5	企画一般事務事業(ふるさと納税によるPR)	熊野筆のほか町内の特産品を返礼品として追加登録することにより、寄附額の増及び町内事業者の需要開拓・販売促進に取り組んだ。また、寄附者との関係を維持する取組(ふでりん通信・アンケート)により、リピート率が向上した。 ・R3寄附額:79,920千円(対前年度比:+24,145千円)	28,828	A	【課題】 より多くの人の目に届くような取組に加え、寄附受納・返礼品発送事務の効率化を図ることが必要。  【取組方針】 民間ポータルサイトの追加や、業務委託等による事務負担の軽減により、返礼品の質の向上や町のPRに係る取組の充実を図る。	拡充	政策企画課
事業目的		ふるさと納税の制度をとおして、熊野筆の魅力向上、熊野町の認知度アップを目指す。					

「評価」区分	「今後の方向性」区分
<b>A (想定90%以上)</b> ・実施事業の目的に沿った取組を実施した(順調に進んでいる) ・計画していた成果を得られた <b>B (想定60%以上90%未満)</b> ・実施事業の目的に沿った取組を概ね実施した(概ね順調に進んでいる) ・計画していた成果を概ね得られた <b>C (想定30%以上60%未満)</b> ・実施事業の目的に沿った取組が十分にできなかった(やや遅れている) ・計画していた成果を十分に得られなかった <b>D (想定0%以上30%未満)</b> ・実施事業の目的に沿った取組がほとんどできなかった(遅れている) ・計画していた成果をほとんど得られなかった <b>E (評価できない)</b> ・事業の廃止・完了により事業を実施しなかった ・義務的業務等のため評価がなじまない	<b>【拡充】</b> 新規事業の実施や予算等の拡充により、事業を拡大して実施する <b>【現状継続】</b> 事業目的や事業内容、対象を前年度と同程度で実施する <b>【改善継続】</b> 事業目的は変更せず、事業内容や手段、対象を一部見直しして実施する <b>【縮小】</b> 事業内容や予算規模等を縮小して実施する <b>【完了・廃止】</b> 事業が完了した又は事業を廃止した

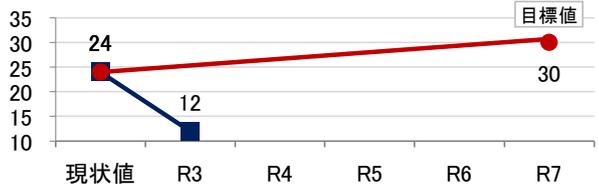
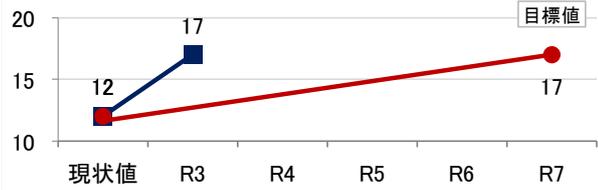
KPIの進捗状況や具体的施策の取組状況を踏まえた基本施策の分析・評価・課題		<Check>
基本施策の進捗状況区分	基本施策(KPI・具体的施策)の進捗状況に係る分析・評価・課題	
<p>S 順調に進捗している</p> <p>A 概ね順調に進捗している</p> <p>B 一定の進捗がある</p> <p>C 進捗に遅れがある</p> <p>D 進捗に大幅な遅れがある</p>	<p><b>B</b></p>	<p>【分析・評価】</p> <p>○『筆の里工房の魅力アップ』では、筆の里工房周辺を整備し、観光交流施設建築のための造成工事を実施した。</p> <p>○『筆の里工房の魅力アップ』、『各種イベントの実施』に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響から、KPI「筆の里工房年間来館者数」が31,743人と前年度数値を下回り、また筆まつりや観光イベントも規模縮小や開催中止となったが、『多様な媒体による観光情報の提供』の取り組みとして、バーチャル筆まつりや複業人材の活用などコロナ禍でもできる方法で事業実施や他機関連携を実施できた。</p> <p>○また、『多様な媒体による観光情報の提供』に関しては、ふるさと納税については、熊野筆のほか町内の特産品を返礼品として追加登録することにより、寄附額の増及び町内事業者の需要開拓・販売促進に取り組むとともに、寄附者との関係を維持する取組(ふでりん通信・アンケート)により、リピート率が向上した。</p> <p>【課題】</p> <p>○『筆の里工房の魅力アップ』では、観光交流施設設計の着実な進展と関係業務との円滑な連携が必要。</p> <p>○『各種イベントの実施』に関しては、コロナ禍における実施方法や、アフターコロナを見据えた事業実施方法の検討が必要。</p> <p>○『多様な媒体による観光情報の提供』に関しては、熊野町の返礼品がより多くの人の目に届くような取組が必要であることに加え、寄附受納・返礼品発送事務の効率化を図る必要がある。</p>

基本施策の進捗状況に係る分析・評価・課題への対応を踏まえた今後の取組方針	<Action>
<p>○『筆の里工房の魅力アップ』では、工房周辺を整備し、観光交流施設を町民の文化芸術活動の拠点とすることで、熊野町の魅力づくりと情報発信とともに『観光推進体制の強化』に掲げた地域人材の育成を図る。</p> <p>○『各種イベントの実施』に関しては、新型コロナウイルス感染症などの外的要因に左右されないイベントの実施方法等を引き続き検討する。</p> <p>○『多様な媒体による観光情報の提供』に関しては、返礼品の質向上、ポータルサイトの追加等を含めた事務負担の軽減を図ることにより、ふるさと納税を通じた町のPRIに係る取組を充実させる。</p>	

基本目標 3 基本施策 4 雇用の促進

基本目標区分	基本目標3 活力と魅力に満ちた元気なまち	担当課	産業観光課
基本施策区分	基本施策4 雇用の促進		
SDGs区分			

具体的施策 <Plan>	
3-4-1 雇用機会の確保	<p>◎ハローワークなどの関係機関や商工会、地元企業等と連携し、就職相談や職業斡旋等の情報提供及び雇用促進に努めます。</p> <p>◎くまの・こども夢プラザで出張相談や就職応援セミナーを県と共催し、女性の就職を総合的に支援します。</p>
3-4-2 起業の支援	<p>◎産業の高度化・情報化に対応した新たな事業展開に向けて、商工会等と連携し、各種講座の開催等人材の育成やコミュニティビジネスの推進などを通じて起業を支援します。</p> <p>◎創業支援事業計画の更新に伴い、引き続き相談窓口の設置を行います。</p>
3-4-3 優良企業の誘致	<p>◎深原地区及びくまの産業団地一帯を産業拠点として位置づけて、都市計画法における地区計画制度の誘導を進め、企業誘致活動の積極的な展開を図ります。</p> <p>◎企業誘致活動に際しては、町民の雇用奨励金制度を創設するなど、雇用の創出にも取り組みます。</p>

まちづくり指標(KPI) <Do>										
指標No.	指標名	指標							進捗率	担当課
		実績値	現状値	R3	R4	R5	R6	R7		
3-4-①	創業支援相談年間件数 (件)	24	24	12				30	0.0%	産業観光課
3-4-②	就職ガイダンス参加事業所数 (事業所)	12	12	17				17	100.0%	産業観光課
3-4-①	創業支援相談年間件数 (件)			3-4-② 就職ガイダンス参加事業所数 (事業所)						
										
【進捗状況及び増減要因】 熊野町、商工会、ひろしま産業振興機構、日本政策金融公庫の各窓口で、計12件の創業に関する相談を受け付けた。新型コロナウイルス感染症の影響から、創業を検討すること自体が減少し、結果として現状値から減少しているものと考えられる。 ・R2相談年間件数: 21件 R3相談年間件数: 12件				【進捗状況及び増減要因】 町民会館で2回実施 (R3.7.13, R3.11.27)。 ・R2参加事業所数: 16事業所 R3参加事業所数: 17事業所						

具体的施策(実施事業)の取組状況 <Do>							
具体的施策No.	実施事業名	取組状況・成果	決算額 (千円)	評価	今後の課題・取組方針	今後の方向性	担当課
3-4-1	商工振興事業(就職ガイダンス実施補助)	商工会が実施する就職ガイダンスに補助金を支給することで、就業促進の支援を実施。 2回実施し、計17事業所が参加。 59名の求職者が来場した。	300	A	【課題】 求職者だけでなく、事業者側の状況を踏まえ、開催方法等について検討する必要がある。  【取組方針】 商工会と連携し、ニーズにあった事業を実施する。	現状継続	産業観光課
事業目的		就業情報の収集を図り、町内及び周辺地区への新聞折込等により周知し、町内で合同企業説明会を実施する。					
3-4-3	商工振興事業(企業立地奨励金)	くまの産業団地において、工場等を新設する者に対し、所要の奨励措置を講ずることで、企業立地の促進と雇用機会の拡大を図った。 2事業所に対して、くまの産業団地企業立地奨励金を交付した。	7,658	A	【課題】 同一事業所へ支援している状況が続いていることから、新規企業の誘致方法を検討する必要がある。  【取組方針】 商工会と連携し、新規企業のニーズについて研究する。	現状継続	産業観光課
事業目的		深原地区及びくまの産業団地一帯を産業拠点として位置づけて、企業誘致活動の積極的な展開を図る。					

「評価」区分	「今後の方向性」区分
<b>A (想定90%以上)</b> ・実施事業の目的に沿った取組を実施した(順調に進んでいる) ・計画していた成果を得られた <b>B (想定60%以上90%未満)</b> ・実施事業の目的に沿った取組を概ね実施した(概ね順調に進んでいる) ・計画していた成果を概ね得られた <b>C (想定30%以上60%未満)</b> ・実施事業の目的に沿った取組が十分にできなかった(やや遅れている) ・計画していた成果を十分に得られなかった <b>D (想定0%以上30%未満)</b> ・実施事業の目的に沿った取組がほとんどできなかった(遅れている) ・計画していた成果をほとんど得られなかった <b>E (評価できない)</b> ・事業の廃止・完了により事業を実施しなかった ・義務的事業等のため評価がなされない	<b>【拡充】</b> 新規事業の実施や予算等の拡充により、事業を拡大して実施する <b>【現状継続】</b> 事業目的や事業内容、対象を前年度と同程度で実施する <b>【改善継続】</b> 事業目的は変更せず、事業内容や手段、対象を一部見直しして実施する <b>【縮小】</b> 事業内容や予算規模等を縮小して実施する <b>【完了・廃止】</b> 事業が完了した又は事業を廃止した

KPIの進捗状況や具体的施策の取組状況を踏まえた基本施策の分析・評価・課題

<Check>

基本施策の進捗状況区分	基本施策(KPI・具体的施策)の進捗状況に係る分析・評価・課題
S 順調に進捗している A 概ね順調に進捗している B 一定の進捗がある C 進捗が遅れがある D 進捗に大幅な遅れがある	<b>B</b> <b>【分析・評価】</b> ○『雇用機会の確保』では、商工会と連携を密にすることで、KPI「就職ガイダンス参加事業所数」が目標値17事業所を達成するなど町内商工業事業者の総合的な改善発展を支援した。 <b>【課題】</b> ○『雇用機会の確保』、『起業の支援』では、事業者側のニーズを把握し、状況にあった支援等を検討する必要がある。

基本施策の進捗状況に係る分析・評価・課題への対応を踏まえた今後の取組方針

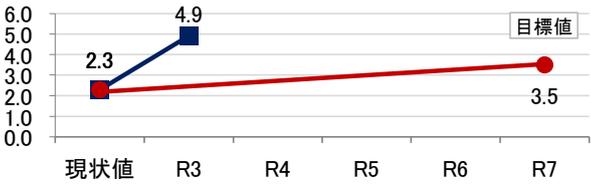
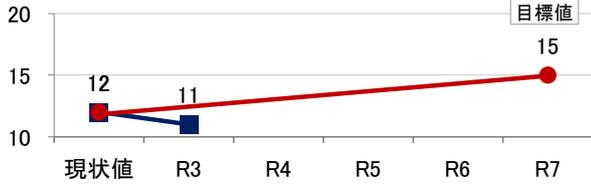
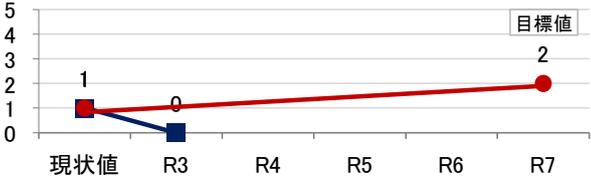
<Action>

○『雇用機会の確保』、『起業の支援』に関しては、国・県の新型コロナウイルス感染症対策施策の動向を注視しつつ、商工会との密な連携を継続し、事業者への支援策を研究する。

基本目標 3 基本施策 5 熊野筆ブランドの充実

基本目標区分	基本目標3 活力と魅力に満ちた元気なまち	担当課 産業観光課 (関係課) 政策企画課
基本施策区分	基本施策5 熊野筆ブランドの充実	
SDGs区分		

具体的施策 <Plan>	
3-5-1 熊野筆ブランドの振興	<p>◎熊野筆ブランドの価値の向上による競争力の強化を図るとともに、製筆技術の維持と向上を目的とした後継者の育成・確保を図るなど、筆産地としての基盤の強化を支援します。</p> <p>◎筆づくりの技術とそれに関わる熊野町独自の文化を守り、受け継ぎ、これをブランド力の一つとするため、指定文化財としての登録に取り組みます。</p>
3-5-2 熊野筆事業協同組合の支援及び連携	<p>◎学校教育や観光分野など、まちづくりの多様な分野における組合との幅広い連携・協力・参加を促進・支援します。</p> <p>◎自主的な経営努力を支援するため、各種融資制度や国の補助事業などの情報を提供し、筆産業の活性化を促します。</p> <p>◎熊野筆ブランドの強化を図るため、専門家による定期的な講座や具体的なアドバイスの提供、製筆技術の維持と向上を目的とした後継者の育成・確保など、筆の産地としての基盤の維持向上のための取組を支援します。</p>
3-5-3 需要開拓や新たな商品開発の支援	<p>◎熊野筆セレクトショップによる熊野筆の知名度の向上の取組と熊野筆事業協同組合による需要開拓への支援を行います。</p> <p>◎医療、福祉、環境などの成長分野と連動した需要開拓や新たな商品開発を支援します。</p> <p>◎他の伝統的工芸品の産地や友好都市協定を結んだ三重県熊野市など、他の地域や自治体同士のつながりを活用し、特産品のコラボレーション商品の開発など新たな取組について推進します。</p> <p>◎ふるさと納税における寄附者を対象として実施するアンケートを活用し、寄附者のニーズや返礼品への意見などを事業者にフィードバックすることで、商品開発等の支援につなげます。</p>
3-5-4 ふるさと納税を生かした熊野筆のPR	<p>◎ふるさと納税の持つPR力を生かし、熊野筆がより多くの人目に届くよう、返礼品数や事業者数の増加に取り組むことで、寄附件数の増加と販売促進につなげます。</p>

まちづくり指標 (KPI) <Do>									
指標No.	指標名	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	進捗率	担当課
3-5-①	ふるさと納税リピート率 (%)	実績値 2.3 目標値 2.3	2.3 4.9				3.5	100.0%	政策企画課
3-5-②	製筆技術研修参加者数 (人)	実績値 12 目標値 12	12 11				15	0.0%	産業観光課
3-5-③	ブランド推進研修会開催数 (回)	実績値 1 目標値 1	1 0				2	0.0%	産業観光課
3-5-①	ふるさと納税リピート率 (%)		3-5-② 製筆技術研修参加者数 (人)						
									
【進捗状況及び増減要因】			【進捗状況及び増減要因】						
ふでりん通信(年1回、寄附者へ寄附実績を報告)の送付時期を変更(5月→10月)し、また、アンケート(プレゼント付)を同時に行うことで、次の寄附への導線を引いた結果などによりリピート率が向上し、目標値を超過した。 ・R2リピート率:4.7% R3リピート率:4.9%			毎月1回研修会を実施し、11人が研修へ参加した。 ・R2参加者数:12人 R3参加者数:11人						
3-5-③	ブランド推進研修会開催数 (回)								
									
【進捗状況及び増減要因】									
新型コロナウイルス感染症の影響から、実施できなかった。 ・R2開催数:0回 R3開催数:0回									

具体的施策(実施事業)の取組状況		<Do>		決算額(千円)	評価	今後の課題・取組方針	今後の方向性	担当課
3-5-1	文化財保護事業	・熊野筆の広島県無形文化財指定を目的に、熊野筆文化財調査研究会を立ち上げ、熊野筆の資料収集・熊野町の歴史文化の研究を行った。	500	A	【課題】 熊野町に関する資料が少なくどのようにまとめるか検討中。古文書等の保存についても検討が必要。 【取組方針】 ・熊野筆文化財調査研究会の取りまとめを基に広島県に無形文化財の登録を申請する。 ・熊野町文化財保存活用地域計画の作成を行い、地域の歴史と文化の保護・継承に取り組む。	拡充	産業観光課	
	事業目的	文化財を適切に保存し、かつその活用を図り、郷土の歴史・文化について理解を深め、町民の文化的向上・発展に資する。						
3-5-2	筆産業振興事業	職人の技術、技法の継承及び向上を図るため、伝統工芸士による講習を実施。 毎月1回、技術研修会を実施。 工芸士5名の講師に対し、延べ43名が受講した。	1,989	B	【課題】 講師の高年齢化により辞任などが続いたため、講師、受講者ともに確保に努める必要がある。 【取組方針】 講師はもとより、伝統工芸士の育成が必要。伝統工芸士になりにくい状況の改善に努める。	改善継続	産業観光課	
	事業目的	熊野筆事業協同組合の支援及び連携により、各種筆職人の技術、技法の継承及び向上に取り組むことで熊野筆の普及促進を図る。						
3-5-3	筆の里工房事業	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による熊野筆セレクトショップの支援を図るため、開店10周年を迎えるTAUのリニューアルオープンにあわせた熊野筆セレクトショップ銀座店の店舗の改修、また熊野筆セレクトショップ広島店・銀座店への家賃補助を実施。	18,841	B	【課題】 新型コロナウイルス感染症によりセレクトショップへの来客も伸び悩んだ。 【取組方針】 アフターコロナを見据えた事業検討。	現状継続	産業観光課	
	事業目的	筆の里工房との連携により都市圏・首都圏での熊野町および熊野筆に関する情報のより効果的な発信を目指す。						
3-5-3	友好都市交流事業(三重県熊野市とのコラボ返礼品の開発)	友好都市協定締結記念コラボ商品「八咫鳥」を共同で開発するとともに、ふるさと納税返礼品として両市町の特産品をコラボした商品を追加した。両商品ともに、R3.11.1からふるさと納税返礼品に追加。 ・R3寄附実績：八咫鳥10件、コラボ返礼品5件	340	A	【課題】 那智黒石と熊野筆のコラボレーションに続く、新たな特産品による商品開発 【取組方針】 両市町の特徴を活かしたコラボレーション商品を開発し、更なるブランド力向上に努める。	拡充	政策企画課	
	事業目的	友好都市協定を締結した三重県熊野市と特産品のコラボレーション商品を開発し、両市町のブランド力向上に取り組む。						
3-5-3	企画一般事務事業(ふるさと納税を活用した広島中央地域連携中枢都市圏域の特産品PR)	圏域市町の特産品をセットにした返礼品により、町及び圏域市町の魅力発信に努めた。 ・R3寄附実績：呉市、竹原市、海田町、大崎上島町 計10セット	22	B	【課題】 新たな特産品による商品開発 【取組方針】 圏域市町の特徴を活かしたセット商品を開発し、更なるPRに努める。	現状継続	政策企画課	
	事業目的	圏域市町の特産品から2品を選べる「連携中枢都市圏セレクトコース」を設け、圏域の魅力発信を図る。						
3-5-3	企画一般事務事業(ふるさと納税によるPR)	熊野筆のほか町内の特産品を返礼品として追加登録することにより、寄附額の増及び町内事業者の需要開拓・販売促進に取り組んだ。また、寄附者との関係を維持する取組(ふでりん通信・アンケート)により、リピート率が向上した。 ・R3寄附額：79,920千円(対前年度比：+24,145千円)	28,828	A	【課題】 より多くの人の目に届くような取組に加え、寄附受納・返礼品発送事務の効率化を図ることが必要。 【取組方針】 民間ポータルサイトの追加や、業務委託等による事務負担の軽減により、返礼品の質の向上や町のPRに係る取組の充実を図る。	拡充	政策企画課	
	事業目的	ふるさと納税の制度をとおして、熊野筆の魅力向上、熊野町の認知度アップを目指す。						
3-5-4	企画一般事務事業(ふるさと納税によるPR)【再掲】	熊野筆のほか町内の特産品を返礼品として追加登録することにより、寄附額の増及び町内事業者の需要開拓・販売促進に取り組んだ。また、寄附者との関係を維持する取組(ふでりん通信・アンケート)により、リピート率が向上した。 ・R3寄附額：79,920千円(対前年度比：+24,145千円)	28,828	A	【課題】 より多くの人の目に届くような取組に加え、寄附受納・返礼品発送事務の効率化を図ることが必要。 【取組方針】 民間ポータルサイトの追加や、業務委託等による事務負担の軽減により、返礼品の質の向上や町のPRに係る取組の充実を図る。	拡充	政策企画課	
	事業目的	ふるさと納税の制度をとおして、熊野筆の魅力向上、熊野町の認知度アップを目指す。						

「評価」区分	「今後の方向性」区分
<p><b>A (想定90%以上)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事業の目的に沿った取組を実施した(順調に進んでいる)</li> <li>・計画していた成果を得られた</li> </ul> <p><b>B (想定60%以上90%未満)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事業の目的に沿った取組を概ね実施した(概ね順調に進んでいる)</li> <li>・計画していた成果を概ね得られた</li> </ul> <p><b>C (想定30%以上60%未満)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事業の目的に沿った取組が十分にできなかった(やや遅れている)</li> <li>・計画していた成果を十分に得られなかった</li> </ul> <p><b>D (想定0%以上30%未満)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施事業の目的に沿った取組がほとんどできなかった(遅れている)</li> <li>・計画していた成果をほとんど得られなかった</li> </ul> <p><b>E (評価できない)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の廃止・完了により事業を実施しなかった</li> <li>・義務的業務等のため評価がなじまない</li> </ul>	<p><b>【拡充】</b></p> <p>新規事業の実施や予算等の拡充により、事業を拡大して実施する</p> <p><b>【現状継続】</b></p> <p>事業目的や事業内容、対象を前年度と同程度で実施する</p> <p><b>【改善継続】</b></p> <p>事業目的は変更せず、事業内容や手段、対象を一部見直して実施する</p> <p><b>【縮小】</b></p> <p>事業内容や予算規模等を縮小して実施する</p> <p><b>【完了・廃止】</b></p> <p>事業が完了した又は事業を廃止した</p>

KPIの進捗状況や具体的施策の取組状況を踏まえた基本施策の分析・評価・課題

<Check>

基本施策の進捗状況区分	基本施策(KPI・具体的施策)の進捗状況に係る分析・評価・課題
<p>S 順調に進捗している</p> <p>A 概ね順調に進捗している</p> <p>B 一定の進捗がある</p> <p>C 進捗に遅れがある</p> <p>D 進捗に大幅な遅れがある</p>	<p><b>A</b></p> <p><b>【分析・評価】</b></p> <p>○『熊野筆ブランドの振興』、『熊野筆事業協同組合の支援及び連携』では、伝統工芸士の高齢化のため、講師、受講者ともに確保が困難なため「製筆技術研修参加者数」も11人と伸び悩んだ。</p> <p>○『ふるさと納税を生かした熊野筆のPR』では、熊野筆のほか町内の特産品を返礼品として追加登録することにより、寄附額の増及び町内事業者の需要開拓・販売促進に取り組んだ。これにより、KPIであるふるさと納税レポート率は目標値を超過している。</p> <p>○また、『需要開拓や新たな商品開発の支援』では、三重県熊野市との友好都市協定締結記念コラボ商品「八咫鳥」を共同で開発するとともに、ふるさと納税返礼品として両市町の特産品をコラボした商品を追加した。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>○『熊野筆ブランドの振興』では、伝統工芸士の高齢化が進んでいる状況であり、技術を教える講師の確保ためには、伝統工芸士になるメリットの明確化に取り組む必要がある。</p> <p>○『需要開拓や新たな商品開発の支援』、『ふるさと納税を生かした熊野筆のPR』では、熊野町の返礼品がより多くの人々の目に届くような取組や、友好都市協定に基づく新たな返礼品の商品開発が必要であることに加え、寄附受納・返礼品発送事務の効率化を図る必要がある。</p>

基本施策の進捗状況に係る分析・評価・課題への対応を踏まえた今後の取組方針

<Action>

○『熊野筆ブランドの振興』、『熊野筆事業協同組合の支援及び連携』では、筆組合と連携し、筆技術の伝承・伝統工芸士の後継者育成のために、産業構造上の課題や進むべき方向性について研究・共有に努める。

○『需要開拓や新たな商品開発の支援』、『ふるさと納税を生かした熊野筆のPR』では、三重県熊野市と本町の特徴を活かしたコラボレーション商品の開発や、返礼品の質向上、ポータルサイトの追加等を含めた事務負担の軽減を図ることにより、ふるさと納税を通じた町内事業者の販路拡大や町のPRに係る取組を充実させる。